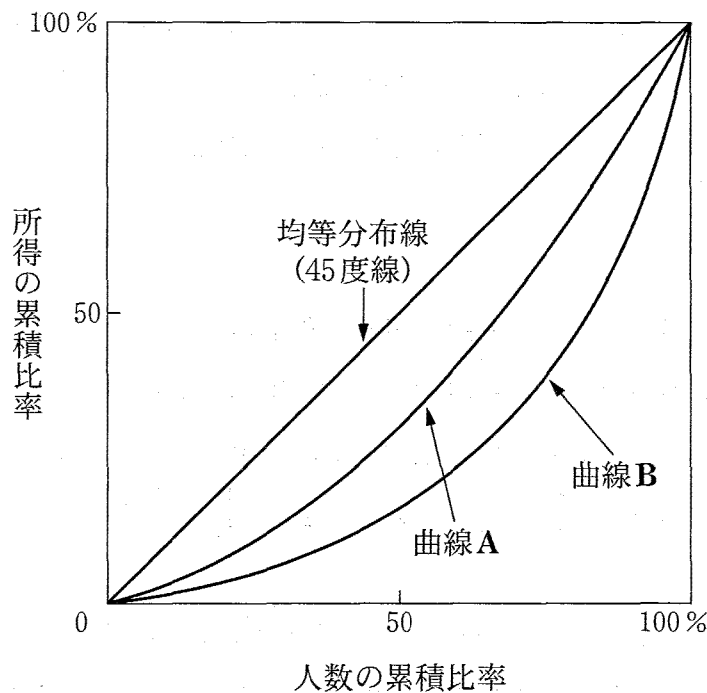


政治・経済

問 8 下線部①に関連して、資産や所得の格差を測る方法の一つとして、次の図に示したローレンツ曲線がある。図は、横軸に、最低所得者から最高所得者へ順に並べた場合の人数の累積比率、縦軸に、それらの人々の所得の累積比率をとり、所得分布の状態を示したものである。所得が完全に均等に分配されていれば、ローレンツ曲線は原点を通る45度の直線に一致し、不均等ならば45度線から下に張り出す曲線となる。今、二つの異なる所得分布の状態が、曲線AとBでそれぞれ示されるとき、この図から読み取ることができる事柄についての記述として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 8



- ① 累進所得税は、曲線をBからAの方向に移動させる効果をもつ。
- ② 公的扶助は、曲線をAからBの方向に移動させる効果をもつ。
- ③ Aで示される所得分布の不平等の度合いは、Bで示されるよりも大きい。
- ④ Bで示される所得分布の不平等の度合いは、Aで示されるものに等しい。